

環境審査顧問会火力部会

議事録

1. 日 時：平成28年2月18日（木）14:23～15:29
2. 場 所：経済産業省別館1階 104各省庁共用会議室
3. 出席者

【顧問】

市川部会長、石丸顧問、岩瀬顧問、角湯顧問、清野顧問、河野顧問、近藤顧問、鈴木雅和顧問、鈴木靖顧問、日野顧問、山本顧問

【経済産業省】

長村統括環境保全審査官、松浦環境審査担当補佐、高取環境審査分析官、長井環境保全審査官、渡邊環境アセス審査専門職、笠原環境審査係

4. 議 題：（1）環境影響評価準備書の審査について

株式会社神戸製鋼所 神鋼真岡発電所建設計画

- ① 補足説明資料、栃木県知事意見及び環境大臣意見の説明
- ② 環境影響評価準備書に係る審査書（案）の説明
- ③ 質疑応答

5. 議事概要

- （1）開会の辞
- （2）資料の確認
- （3）環境影響評価準備書の審査

株式会社神戸製鋼所 神鋼真岡発電所について事務局から補足説明資料、栃木県知事意見、環境大臣意見及び審査書（案）の説明を行った後、質疑応答を行った。

- （4）閉会の辞

6. 質疑内容

(1) 株式会社神戸製鋼所 神鋼真岡発電所建設計画

< 補足説明資料、栃木県知事意見及び環境大臣意見の説明 >

○顧問 ありがとうございます。

補足説明資料、栃木県知事意見及び環境大臣意見について、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

○顧問 補足説明資料8ページ(2) 風向差の頻度分布図を作成いただきありがとうございます。概ね地上50m、地上100mのプラスマイナス1方位の一致度が79%から75%、本当は80%以上あるといいのですが、これで評価されても構わないのではないかと思います。これで結構ですということです。

補足説明資料49ページの温熱環境ですが、気温上昇のグラフを入れていただきありがとうございます。800mとか1,000mぐらいの距離のところ、何となく下層の方に気温の高いところが下りてくる感じになっていまして、これは多分1回上昇で上がったものが下りてくるのだと思います。地上の方は、グラフ上はほとんどゼロに近いのですが、これはどの程度の上昇量になっているのかというのは詳しく見られたのでしょうか。

○事業者 例えば補足説明資料49ページの下図の各断面を切ったところは、空冷式復水器から200m地点、400m地点、600m地点とそれぞれ切ったところのデータをとってきたものですが、その高度は100m区分でプロットしております。その下につきましては、どちらかという温度が上がらない状況であったことは確認しているのですが、手元にデータがないので何度であったかというはお示しできません。いずれにしても地上1.5mのところでは温度が上昇した地域はなかったというのは確認してございます。

○顧問 分かりました。

地上気象を事後調査でお願いしたのですが、補足説明資料の60ページ、知事意見にもあるとおり、稼働後は1カ所ではなくて複数地点での気象観測をお願いしたいと思えます。気温だけではなくて、湿度と風向・風速も測っていただきたいと思えます。というのは、風が施設から風下になっているかどうかが大変なので、それもあわせて測っていただきたいということです。

このデータの整理に関してですが、事後調査の結果どのように公表されるかをお聞かせ願いたい。

○事業者 湿度については、測ることを検討いたします。

風向につきましては、発生源の発電所でどこか適当なところはないかと今考えておりました。そこで測れば、どちらに行ったかというのが分かるかなと思っています。それを検討します。

○顧問 風は発電所の中で測るということでもいいと思います。

○事業者 結構大きい建物がありますので、どこで測ればいいのかというのは、まだ結論が出てないのが実情でございます。

今回（気温を）測る場所をエリアで示させていただいたのは、実際に測れる場所がどこにあるのかというのを、今後調べていかないといけないということと、その土地が借りられるかどうかがあります。あと、特に人家の近くの場合は室外機の影響があります。稼働するまで3～4年ございますので、その間に少しずつ、特に夏の室外機の影響を受けないエリアがあるのかどうかというのを確認しながら決めていきたいと思っています。今回は具体的な場所をお示しすることができなかったというのをご理解いただきたいと思っています。

公表については、どういうふうにしたらいいのかというのは今アイデアがない状態でございます。恐らく地域の皆様が何かしらのクレームとか、あるいは苦情を含めてお申し出の際には、こういうデータも持っているということをお示ししながらご理解を賜りたいと思っていますが、改めてどういう公開をするかというのは、はっきり言ってアイデアがない状態でございます。

○顧問 データの公開は準備書の手続上、こうやって公開するとか書かないといけないのではないですか。

○顧問 栃木県知事から意見が出ているので、栃木県には報告する必要はあるのではないですか。

○事業者 栃木県様とこれからお話をしていくつもりでございます。もちろん測定しますので、測定データをどこで測るのかの計画も含めてご相談をしたいと思っています。

○顧問 栃木県の審査会の方で報告するようなシステムにはなっていないのですか。

○事業者 はい。

○顧問 データがフィードバックして、我々にも事後調査結果を拝見できるような場があるといいなと希望します。

- 経済産業省 関係機関に報告すると記載されている準備書は見受けるのですが。
- 事業者 これは法律に基づく事後調査ではないと認識してございます。公の手續というよりは、これからのご審査の参考にとということで、電力安全課に提出するということでもよろしいでしょうか。
- 顧問 これは事後調査にはならないと思います。一般的な意味で事後調査ですがアセス法上の事後調査にはならない。項目選定もしていないので、無理だと思います。栃木県の事後調査として報告する場があれば一番いいと思ってお聞きしたのですが、それもだめとなると、自主的に経産省に報告を出していただくのがよい。肝心なのは、次に同じような事業があったときに、きちんとしたデータで影響があったとか、なかったとかというのが一番大事です。少なくとも次の事業者さんが、例えばヒアリングされる時とかには経産省を通じてでもデータは確実に公表していただきたい。ここの議事録で公表していただくと言っただけであればよいと思います。
- 事業者 それはお約束をいたします。議事録に残していただいて結構でございます。
- 顧問 それでよろしく申し上げます。
- 経済産業省 そうしましたら、当課にも提出をいただくことでお願いします。
- 顧問 当該事業と同様な三菱日立パワーシステムズ高砂工場実証設備複合サイクル発電所更新計画もありますが、事例の少ない事業なので、もし何か問題があったときは、適切に対応していただきたいと思います。
- 事業者 これから、適切にというのは考えていかないといけないとは思いますが、まずはこれから3年間かけて、正確に測る方法を検討させていただくということでご理解賜りたいと思います。
- 顧問 では審査書（案）の説明後、またご意見をお願いします。

<環境影響評価準備書に係る審査書（案）の説明>

- 顧問 ありがとうございました。
- 審査書（案）に関して、ご意見、ご質問をお願いいたします。
- 顧問 審査書（案）37ページの騒音の「主な環境保全措置」中に「建物と建物の間に防音壁を設置する」と書いてあるのですが、補足説明資料31ページの敷地の周辺に配置する赤で描いてある防音壁は、評価書等でも記述する予定はございますか。

審査書（案）等にもその部分も含めて防音壁を配置して環境保全措置とするという記載を、民家等の関係も補足説明資料（非公開）にありますので、つけ加えて万全の対策をするという記載の方がよろしいのかなと感じました。

○事業者 敷地の周辺の部分でございますね。分かりました。

○顧問 以前は建物と建物の高い障壁に目がいていたのですが、そのほかにもきちんと敷地周辺等にも障壁を設ける、あるいは回折効果のあるようなものを配置するという対応するという説明がございましたので、審査書（案）にもその辺のところは記載していただいた方が、建物と建物の間だけではないということが分かるようにしていただいた方がよろしいのではないかと思います。

○顧問 補足説明資料の31ページのところですか。

○顧問 周辺に赤いラインがめぐっていますよね。

○顧問 建物だけではないのですね。

○顧問 はい。この防音壁で最寄りの民家等の影響を軽減するという説明もございましたので。

○経済産業省 評価書にも反映をさせるということですか。

○顧問 その辺どうなのか分からないのですが。

○顧問 この補足説明資料は評価書と一体だと思いますが、事業者さんは評価書に反映しても構わないですか。

○事業者 もちろん構いませんが、それも含めた環境保全措置として準備書に書いたつもりですが、少し分かりにくい表記だったので、どうさせていただこうかなと思います。

○経済産業省 そうしましたら、補足説明資料31ページの内容を評価書にも反映することを事業者は検討していただきつつ、審査書の方に反映させるようにいたします。

○顧問 よろしくお願ひします。

ほか、いかがでしょうか。では、今日はこれで終わります。

○経済産業省 どうもありがとうございました。

本日の審査内容、環境大臣意見、知事意見等を踏まえまして、勧告等の手続に入りたいと思います。今日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。